

「卒業前に行う臨床能力の評価」

日時: 平成 25 年 10 月 3 日(木) 18:00~19:30

背景: 学生が卒業にふさわしい能力を身につけたかどうかを確かめる在学中最後の試験として卒業試験が行われるが、その内容は学科試験であり、知識の確認しか行えない。5・6年次には、医学生が医師として巣立つうえで不可欠な能力(知識、技能のみならず、責任感、患者への共感と配慮、協調性など)を身につけることを目的として臨床実習が行われるが、診療能力が身についたかどうかの評価を学科試験で行うことは困難である。全国80大学中50大学で卒業前にOSCEが行われているが、その試験方法はさまざまであり、各大学とも学生の臨床能力をより正確に評価するためにさまざまな努力・工夫を重ねている。当大学でも、よりよい試験形式を求めて、検討を行うことが必要である。

目的: 卒業前のOSCEについて、その意義を再確認し、他大学の試験の実情を知ること、また、米国の医師国家試験で行われている実技試験の試験形式を理解し、当大学へ導入した場合の利点、問題点などを参加者で共に考えることを目的とした。

概要: 学内教員計32名の出席があった。前半の30分で、卒業前OSCEに関する一般的な説明、全国の他大学の現状、米国の医師国家試験での実技試験(USMLE step2 CS)の概要に関する説明を医学教育センターより行った。次の30分では、USMLE step2 CSに準じた試験形式を紹介したビデオを上映し、最後の30分間は総合討論とし、質疑応答・意見交換を行った。

参加者アンケート 集計結果

1. 現状解説の説明はわかりやすかったですか。
 - 18 非常にわかりやすかった
 - 5 どちらかといえばわかりやすかった
 - 0 ややわかりにくかった
 - 0 非常にわかりにくかった
2. ビデオの内容はわかりやすかったですか。
 - 18 非常にわかりやすかった
 - 4 どちらかといえばわかりやすかった
 - 1 ややわかりにくかった
 - 0 非常にわかりにくかった

3. このFDの内容は役に立つものでしたか。
- 10 非常に役にたった
 - 14 ある程度役にたった
 - 0 あまり役にたたなかった
 - 0 まったく役にたたなかった
4. このFDの内容のレベルはどうでしたか。
- 2 難しすぎる
 - 6 やや難しい
 - 13 ちょうどよい
 - 2 やや易しい
 - 0 易しすぎる
5. このFDから、有益な情報は得られましたか。
- 11 多くを得られた
 - 13 ある程度得られた
 - 0 あまり得られなかった
 - 0 ほとんど得られなかった
6. 今回のFDは、全体に満足いくものでしたか。
- 7 非常に満足がいった
 - 15 ある程度満足がいった
 - 1 あまり満足いかなかった
 - 0 まったく満足いかなかった